

令和8年度 阪南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

Ⅰ 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

Ⅰ 全国学力・学習状況調査

※英語はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（CBT=Computer Based Testing）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率 (%)		平均無解答率 (%)		平均IRTスコア (参考)英語3技能
			国語	数学	国語	数学	
3 年	学校	266	62	59	6.0	11.0	521
	大阪市	-	60	55	5.4	11.4	499
4月23日	全国	-	63.9	57.0	4.9	10.4	499

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について

成果と課題

○全国学力・学習状況調査

【成果と課題】

<国語>

平均正答率において、全国と比較して1.9p下回り、大阪市と比較して2p上回った。

領域別正答率において、

A「話すこと・聞くこと」では、全国と比較して2.8p下回り、大阪市と比較して1.2p上回った。

B「書くこと」では、全国と比較して2.5p下回り、大阪市と比較して2.5p上回った。

C「読むこと」では、全国と比較して1.2p下回り、大阪市と比較して1.2p上回った。

<数学>

平均正答率において、全国と比較して2p上回り、大阪市と比較して4p上回った。

領域別正答率において、

A「数と式」では、全国と比較して1.7p上回り、大阪市と比較して3.4p上回った。

B「図形」では、全国と比較して3.1p上回り、大阪市と比較して4.2p上回った。

C「関数」では、全国と比較して4.4p上回り、大阪市と比較して6.7p上回った。

D「データの活用」では、全国と比較して0.4p下回り、大阪市と比較して2.9p上回った。

- ・ 平均無回答率が国語、数学ともに高い。

<英語>

平均IRTスコアにおいて、全国・市をともに22p上回った。

IRTバンド分布(5段階で5が良)を見ると、【4】が全国よりも高い。一方で、【1】の割合が全国・大阪市と比べて非常に高い。

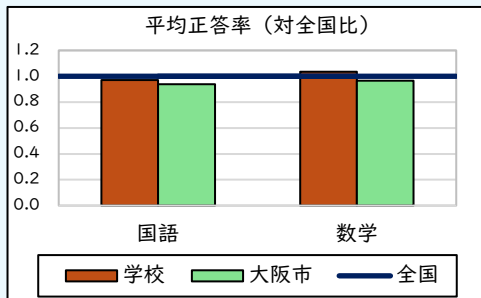
今後に向けて

日々の授業で繰り返し小テストを行ったり、プリント学習を継続して取り組み、基礎学力を定着させていく。また学習者用端末などデジタル機器をさらに活用し、話し合いの活動の数を増やすことでより深化した学びとなるようにすすめたい。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（国語・数学）

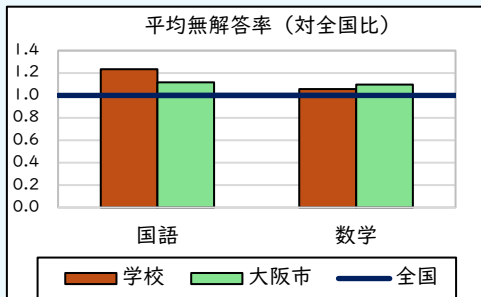
平均正答率（％）

	国語	数学
学校	62	59
大阪市	60	55
全国	63.9	57.0



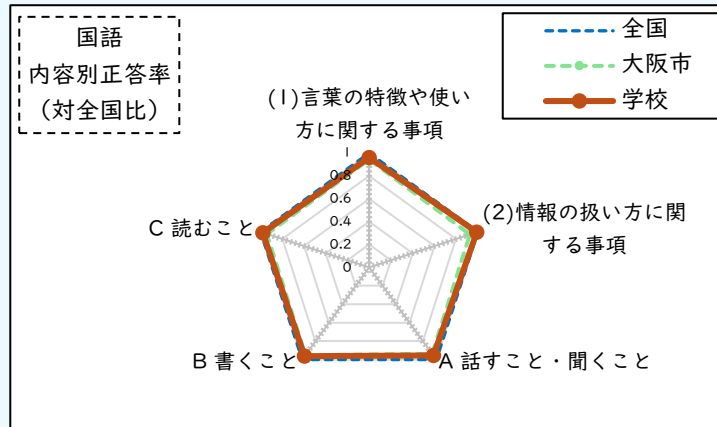
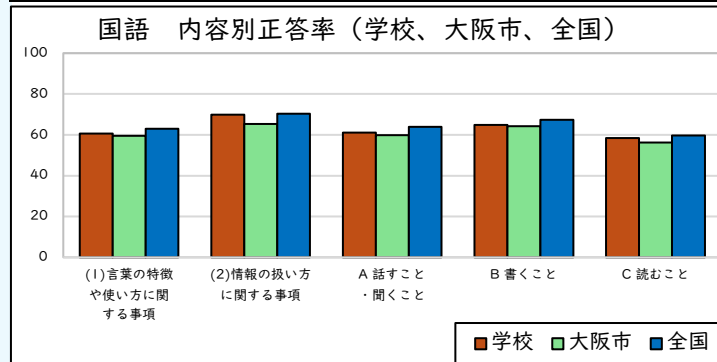
平均無解答率（％）

	国語	数学
学校	6.0	11.0
大阪市	5.4	11.4
全国	4.9	10.4



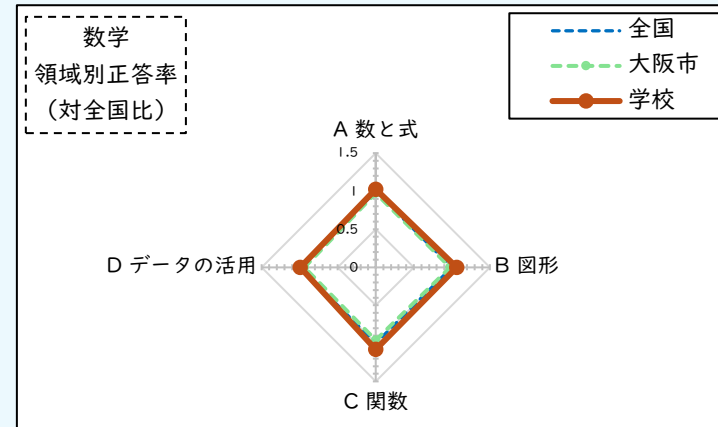
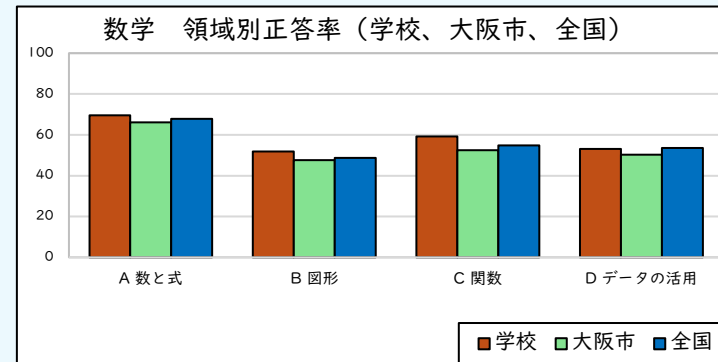
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	5	60.6	59.5	63.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	69.8	65.3	70.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	61.1	59.9	63.9
B 書くこと	3	64.9	64.2	67.4
C 読むこと	3	58.5	56.3	59.7



【数学】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	69.5	66.1	67.8
B 図形	4	51.8	47.6	48.7
C 関数	3	59.2	52.5	54.8
D データの活用	4	53.1	50.2	53.5

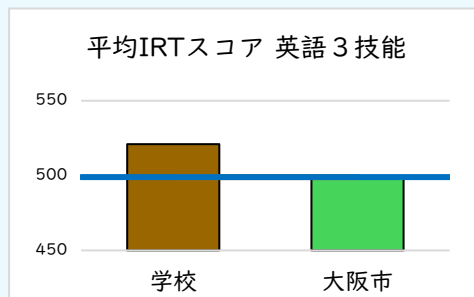


令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（英語）

英語 平均IRTスコア

学校	(521)
大阪市	(499)
全国	(499)

※（参考）3技能の平均IRTスコアです



【IRT(Item Response Theory：項目反応理論）とは】

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

【IRTスコアとは】

IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

導入する年（中学校英語は令和8年度）の全国平均を基準値とし、経年比較が可能な形で算出します。

【IRTバンドとは】

IRTスコアを1～5の5段階に区切ったものです。3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。

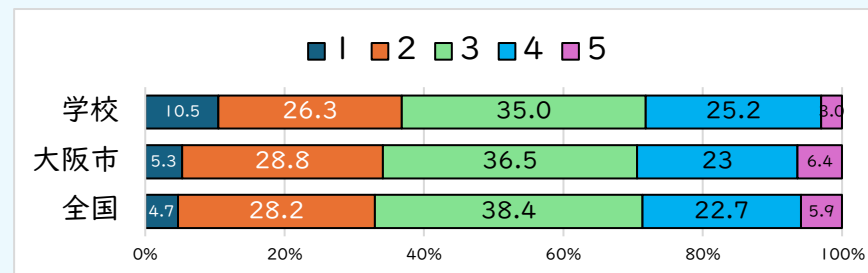
※IRTスコア・IRTバンドは、難易度の高い問題にしていると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出されます。

IRTバンド分布比較（3技能）

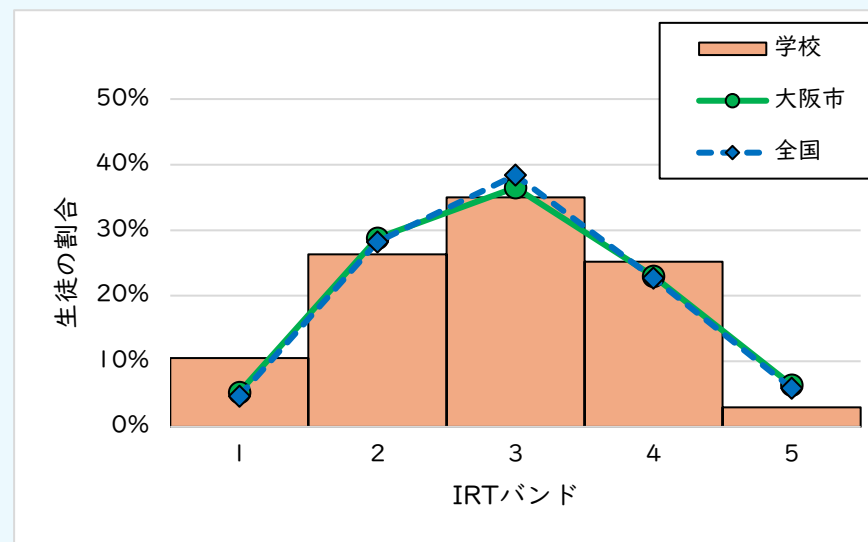
	1	2	3	4	5
学校	10.5	26.3	35.0	25.2	3.0
大阪市	5.3	28.8	36.5	23	6.4
全国	4.7	28.2	38.4	22.7	5.9

※3技能のIRTバンド分布です

IRTバンド分布比較（3技能）



IRTバンド分布グラフ（3技能）



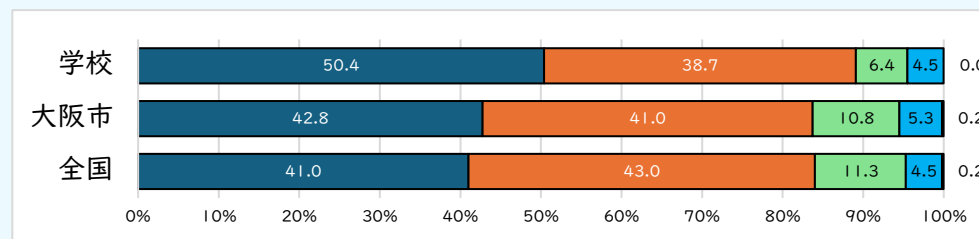
生徒質問調査より（１）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

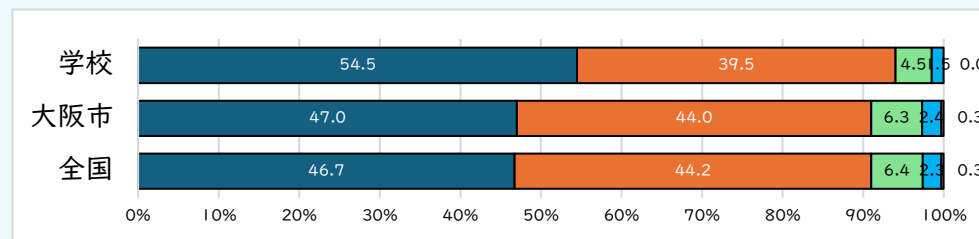
質問番号 質問事項

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



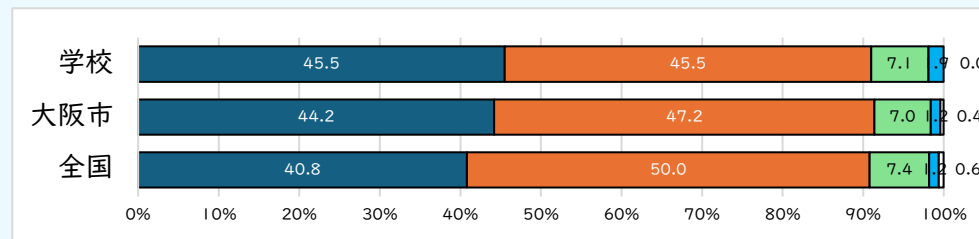
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



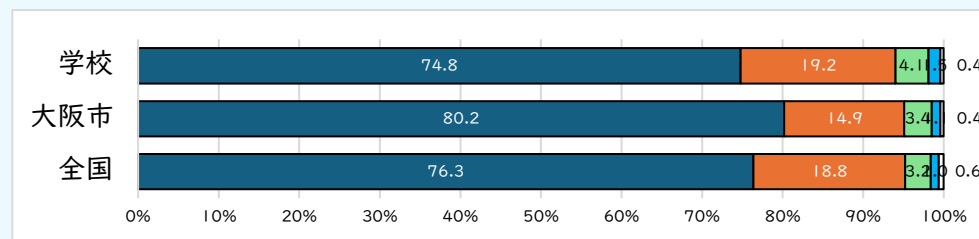
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(11) 人が困っているときは、進んで助けていますか



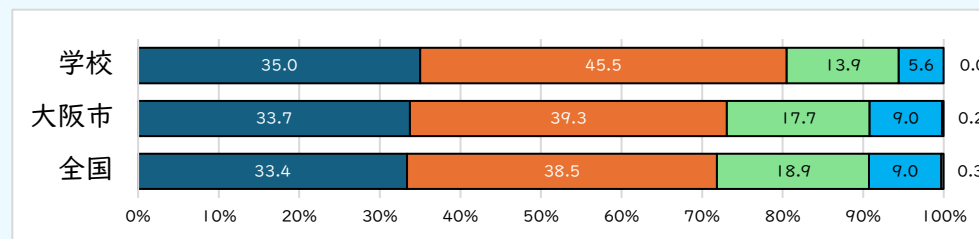
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(12) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(13) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

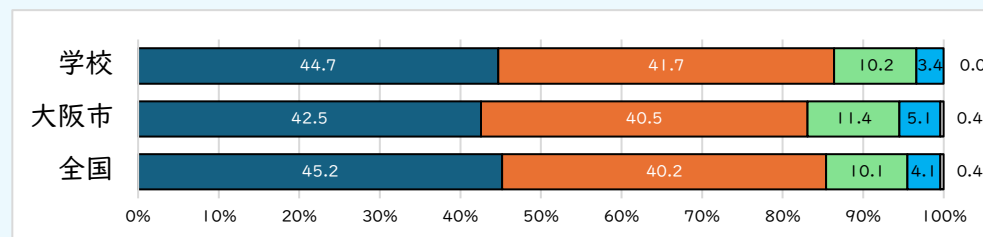
生徒質問調査より（２）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

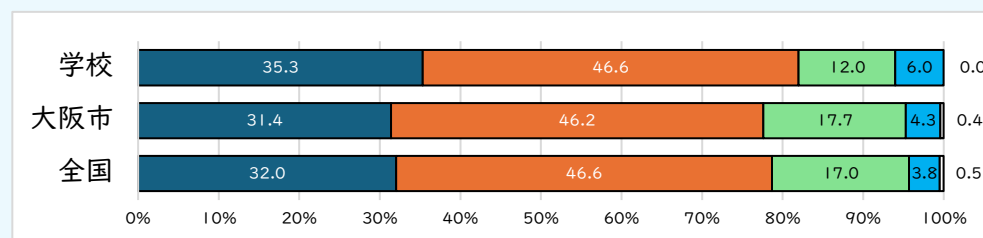
質問番号 質問事項

(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか
------	------------------



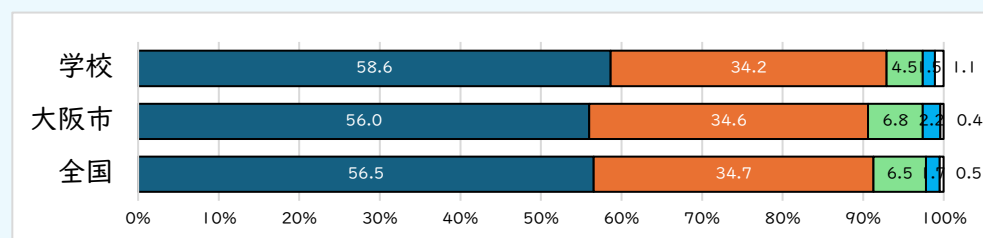
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(16)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
------	---------------------------



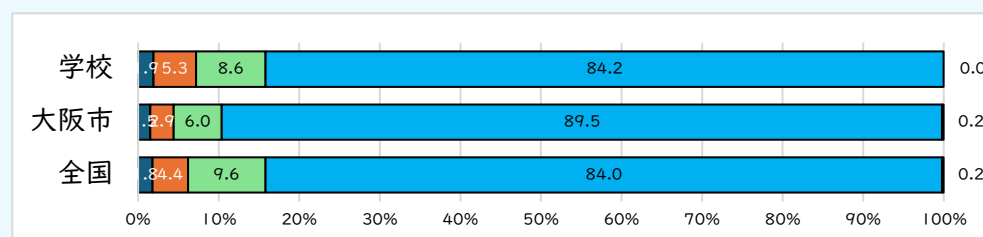
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(17)	友達関係に満足していますか
------	---------------



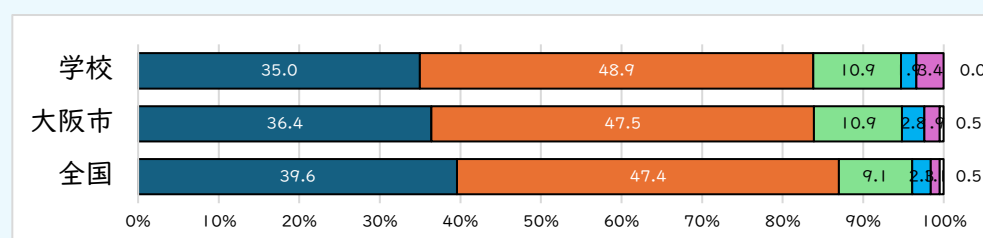
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(30)	新聞をどれくらい読んでいますか
------	-----------------



- 1 ほぼ毎日読んでいる
- 2 週に1～3回程度読んでいる
- 3 月に1～3回程度読んでいる
- 4 ほとんど、または、全く読まない

(42)	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
------	---



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない
- 5 学級の生徒との間で話し合う活動を行って

学校質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

質問番号

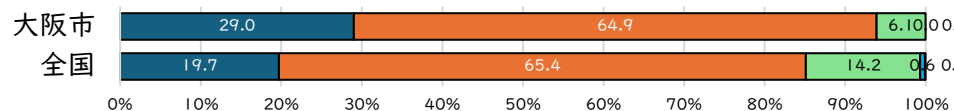
質問事項

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

(7)

調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

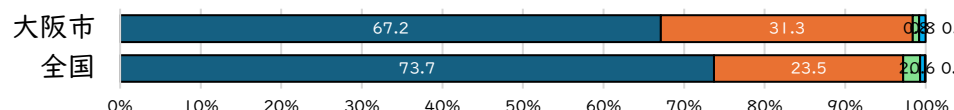


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(13)

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、生徒が相談したい時に相談できる体制となっていますか

【学校の回答】 1 そう思う

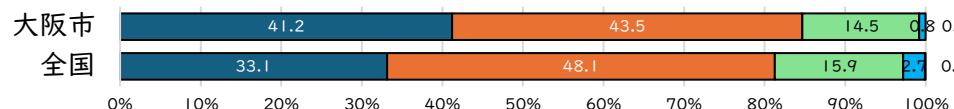


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(24)

生徒にとって、学校施設全体として、生徒が学びや生活がしやすく、居心地のよい建物だと思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

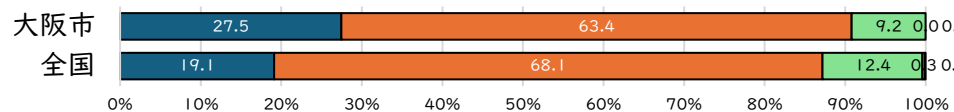


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(26)

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

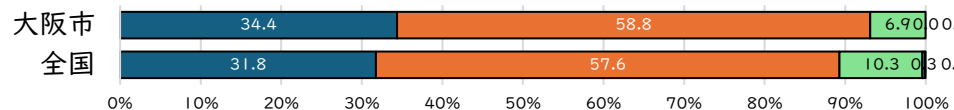


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(66)

生徒が学びを深めるための指導改善に向けた取組として、教員がコンピュータなどのICT機器の効果的な使い方を学ぶために必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、当てはまる



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない